

## 第3回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2012年3月15日（木）午後13時20分～14時30分

場 所：川崎市役所第4庁舎第1会議室

出席者：〔委員〕小倉、庄司、瀧田

〔川崎市〕地球環境推進室

〔事務局〕杉浦環境プロジェクト株式会社

### 1. 開会

### 2. 委員長あいさつ

### 3. 議事

#### (1) 市民コンパクト新規申請の審査結果について

事務局から3月審査について、審査対象の「川崎市地球温暖化防止活動推進センター・省エネグループ」は、委員5名の審査票からなる評点の合計が57点と平均点の45点を上回り、市民コンパクトのパートナー団体としての登録を承認したことが報告された。

#### (2) 下期事業の取組について

事務局から資料2「かわさきコンパクト事業推進の後期報告（10月～2月）」に沿って下期事業について報告された。

#### (3) かわさきコンパクト・フォーラム開催について

委員会後に開催するフォーラムの参加者状況や進行についての確認を行った。今回は広報先を拡大したことで参加者の範囲が広がったことが市担当者から報告があった。

#### (4) 来期への課題

来期への課題について意見交換を行った

（広報におけるメディア関係）

- ・今回のように多方面のツールを利用していくことは今後も続けて欲しい。

（セミナーについて）

- ・回数が多いのでは？一回減らしたほうがいいのではないかと？
- ・意見交換の時間が少なく意見を述べただけで終わってしまうのが残念である。
- ・2月に地球温暖化防止活動推進センターと連携して事例発表と意見交換会を行ったが、多くの企業の協力を得られて大変有意義なものとなった。かわさきコンパクトがあってこそこのコラボレーションといえる。

- ・身近な体験を聞くと自分でもできるのではと共感を得やすい。
- ・地球温暖化防止活動推進センターでの展示や連携はこの場限りでなく、今後も機会があれば続けていきたい。
- ・今後は高津市民館やかわさき市民活動センターなどのスペースを借りての展示や、展示と絡めてセミナーを行うなど敷居を低くしたい。
- ・敷居の低いイベントを一度は取り入れて欲しい。講義編と実践編という形式であるといろいろな参加者が取り込めると思う。

(継続について)

- ・継続の手続きのとき、前回の申請書をワードで送ると申請者の手間も軽減されて申請しやすい。

(その他)

- ・関連する事業との連携を検討してほしい。
- ・環境局ではいくつか関連する事業があるので、そういう募集や結果情報をメーリングリストで流すなどの接点を増やすのはどうか。
- ・低 CO2 ブランドで表彰された企業や団体に受賞内容を発表する機会を設けるなど、関連する事業との連携でうまく活用を展開していくとよい。
- ・KC は、横浜市の CSR 表彰制度と比較して訴求力が弱い。KC の発足にあたり市職員の事前の海外調査レポートでは共通テーマで取組む事例が紹介されている。行政だけでは限界があるテーマや共通課題に企業、団体が一緒になって取り組んでいく場があるとよい。
- ・テーマが出てくればそれに合わせて新しい企業が出てくるのではないか

#### 4 その他

市から来年度も引き続きかわさきコンパクトに取り組む体制ができたので、さらに拡充を目指していきたいとの報告があった。

#### 5 閉会